

■ 年次主任の独り言 ■

○アメリカの心理学者・哲学者ウィリアム・ジェイムズの言葉

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

というのをご存じだろうか。この言葉は、松井秀喜選手が星稜高校時代に野球部の山下監督から送られた言葉であり、松井秀喜選手の座右の銘であるらしい。似たような言い回しは他にもある。進路指導室の入口左側に貼ってある「人生八変化」を目にした人もいるだろう。

自分が変われば相手が変わる 相手が変われば心が変わる
心が変われば言葉が変わる 言葉が変われば態度が変わる
態度が変われば習慣が変わる 習慣が変われば運が変わる
運が変われば人生が変わる

どこからスタート（変化）してもいいとは思うのだが、兎に角まずは自分が変化の一步を踏み出すことから始まる。そこから、自分の人生が大きく変わっていく（好転することもある、暗転することもある）。自分の心あるいは行動が少しでいいから変わる（動き出す）ことが大切である。成長過程である君たちにとっては、現状維持は寧ろ悪である。

- 2 学期最終日の年次集会で「2 年次 3 学期は 3 年次 0 学期である」というお話をした。それに合わせて「3 年次 0 学期の準備」という進路に関する宿題を課した。担任の先生からの話では、この課題に真剣に取り組まず、適当な記述が目につくようである。一步が踏み出せていない生徒が少なからずいるようである。スタートは早い方がいいに決まっている。「直前にならないと、やる気が出ない」などと言っている者は必ず失敗する。君たちが 2 年前に経験した高校入試とは訳が違う。大学入試（上級学校入試）・就職試験は全国規模であるとともに、競争倍率が格段に異なる。高校入試は落ちる者は数名であるのに対して、大学入試・就職試験は落ちる者の方がはるかに多い。場合によっては競争率が 1 0 倍 2 0 倍（1 0 倍ならば、1 0 人受けて 1 人合格、9 人不合格ということ）なんてことも普通にある。絶対に直前スタートなど通用することはない。
- より良い人生を歩もうとするのであれば、自分の力で切り拓いていくしかない。助けてくれる人はいるかもしれないが、あなたの人生を責任をもって面倒見てくれる人などいない。まずは一步を踏み出すこと。そこから全ては始まる。「千里の道も一歩から」である。

● 進路室から愛を込めて ●

進路指導部長 奥田 政治 先生

「おなかの痛さ」を表現するときに、アメリカでは数値で示すという。「おなか痛いんです」「1 から 1 0 でいうとどのくらい?」「5 くらいかな」このようなやりとりがなされているということだ。日本では痛みを表すのにオノマトペを使うことが多い。
ずきずき 痛む
ひりひり 痛む
きりきりとした痛み
じくじく痛い
がんがんする
などなど。

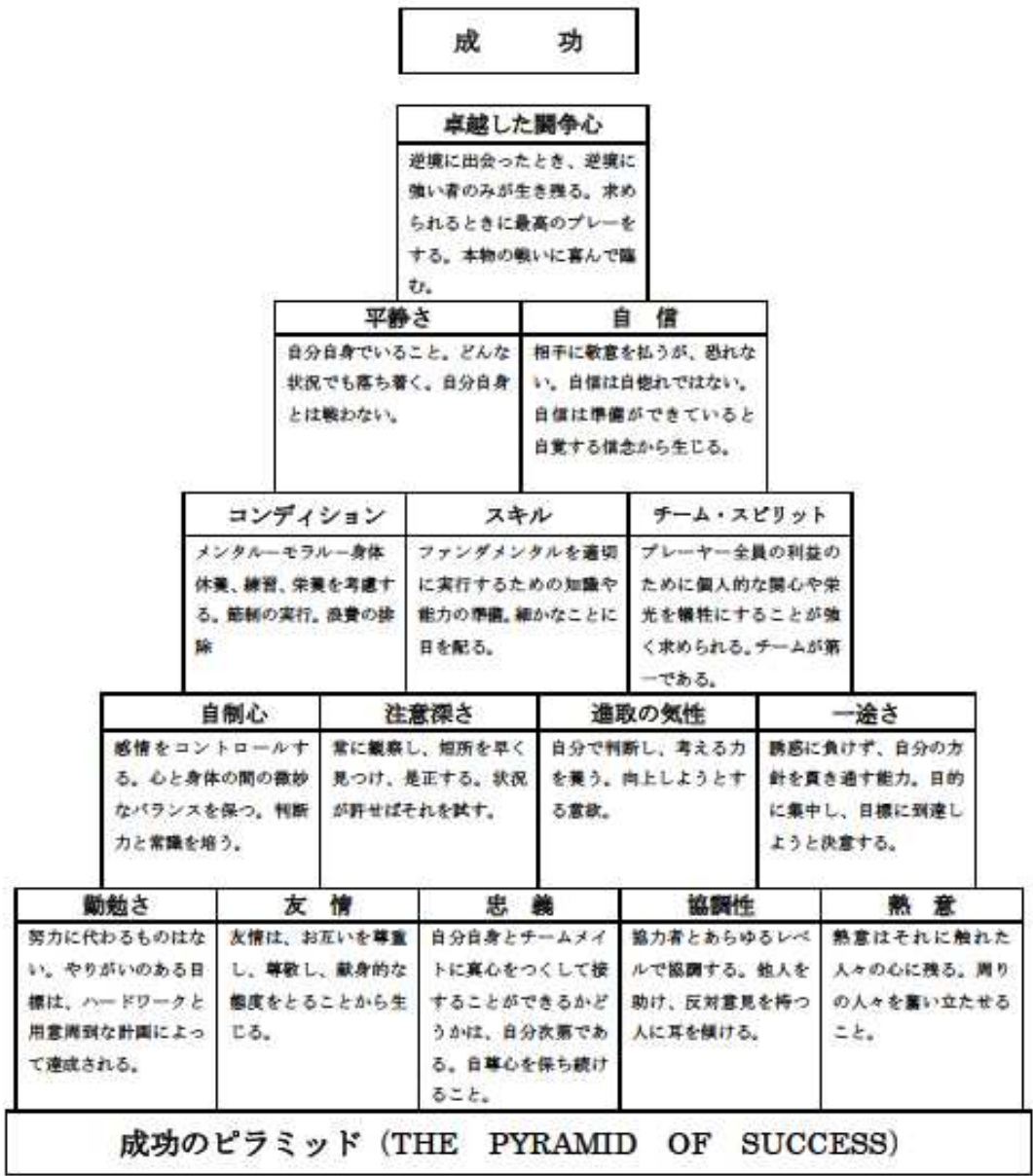


実際の医療現場でも「痛み表現表」を元に（しかも方言バージョンもある！）診察をしているという。なんとも不思議ではないか。「科学的な検査をすればもっと速く正確に分かる」というのは論理的には正解であろうが、現実には不可能だ。時間も費用も莫大にかかるのだから。だからおおよその当たりを付けて診断し処置・処方をして様子を見ていく。そして次の診察につなげる。そう医療行為こそ高度なコミュニケーションなのだと知れる。私たちはことばに対する信頼に寄りかかって暮らしている。と同時にことばへの疑いも常に抱いている。果たして誰もが同じように、誰かのことばを理解しているだろうか。果たして自分の意図が正しく伝わっているだろうか。疑いながらも信頼し、使い続けることでことばの精度が磨かれる。

♥ [ペンリレー] 先生からのメッセージ ♥

2 年次付 加藤 淳一 先生

今回は加藤が担当します。
前回（昨年度）は、トレーニングの話をしました。「自分自身が何かを得る、上手くなるための原理・原則」について話しました。
今回は、それを成功へと導くためにはという話しにします。
成功のピラミッド（The Pyramid Of Success）です。
これはスポーツ界（特にバスケットボールの世界）では有名なものですが、中央の『スキル』ばかりを意識しがちではあるが、土台から積み上げていかないと『成功』へは到達しない、というものです。
そして、各項目を身につけるのに、前回の話（原理・原則）が重要となる訳です。



さあ、今のあなたは何をどのくらい持って、自分の求める『成功』へと昇っていかようとしているのだろうか。まだまだ道半ば、多くのアイテムを身につけ、社会へと飛び立ち、それぞれの『成功』へと進んでいこう！

★2・3月の行事予定

2月

1	月	3年次特別時間割開始
2	火	外部講師(2年音楽表現 1限)
3	水	青谷学ポスターセッション(1・2年 6・7限)
4	木	3年担任に学ぶ講演会(1年 6・7限)
5	金	
6	土	大学入学共通テスト模試・看護模試(2年)
7	日	
8	月	推薦入試前日準備(2限授業、大掃除等) 終礼11:30 生徒は 12:30 以降校地内立入禁止 (部活動禁止)
9	火	推薦入試 生徒自宅学習 生徒は 14:00 まで校 地内立入禁止 (14:00 以降校舎外の部活動は可)
10	水	生徒自宅学習 生徒は終日校地内立入禁止(部活 動禁止)
11	木	建国記念の日
12	金	年次末考査割発表 漢字検定(放課後)
13	土	
14	日	
15	月	3年次出校日 頭髪服装指導
16	火	外部講師(2年音楽表現 1限)
17	水	
18	木	基礎力診断テストの活かし方講演会(1年 7限)
19	金	↑ 年次末考査 (～25日)
20	土	↓
21	日	↓
22	月	
23	火	↓ 天皇誕生日
24	水	
25	木	↓
26	金	卒業式準備・表彰式・式練習 頭髪服装指導
27	土	
28	日	

※入試等の状況に伴い、行事予定が変更されることがあります。

3月

1	月	卒業式			授業なし	
2	火	外部講師(2年音楽表現 1限)			7限	
3	水				7限	
4	木	5限の授業カット 6・7限の授業繰上げ 職業別講演会(1年 産社) 一般入試準備(大掃除等 7限) 生徒は 16:30 以降校地内立入禁止(部活動禁止)			6限	
5	金	生徒自宅学習			↑ ↓	×
6	土	生徒は校地内立入禁止(部活動禁止)				
7	日					
8	月	生徒自宅学習				×
9	火	高校入試 生徒自宅学習				×
10	水	高校入試 生徒自宅学習				×
11	木	生徒自宅学習 生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可)				×
		追検査ありの場合			追検査なしの場合	
12	金	短縮40分授業 生徒は 15:00 以降校地内立入禁止(部活動禁止)	6限	短縮40分授業	6限	
13	土					
14	日					
15	月	追検査 生徒自宅学習 生徒は終日校地内立入禁止(部活動禁止)	×	短縮40分授業4限まで	4限	
16	火	短縮40分授業5限まで 教科書販売 外部講師(音楽表現 1限)	5限	短縮40分授業 教科書販売 外部講師(2年音楽表現 1限)	7限	
17	水	生徒自宅学習 生徒は終日校地内立入禁止(部活動禁止)	×	生徒自宅学習 生徒は 14:00 までは校地内立入禁止(14:00 以降校舎外の部活動は可)	×	
18	木	授業4限まで 生徒は 13:30 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可)	4限	短縮40分授業 生徒は 15:40 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可)	7限	
19	金	合格者登校日 生徒自宅学習 生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可)			×	
20	土	春分の日				
21	日					
22	月	教科書販売 外部講師(2年音楽表現 6限)			6限	
23	火	スポーツ大会			なし	
24	水	3学期終業式・離任任式 生徒は 14:00 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可)			なし	
25	木	春季休業開始 (再募集入試)(再募集入試が行われる場合には生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可))				
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					
31	水					

本年度も大雨・大雪などの荒天により急遽臨時休校となったりするケース
がありました。保護者アンケートの中にそのような場合での「連絡が遅く、
生徒が困っている」といったような意見もありました。
荒天時における対応については、入学時に配布してある「高校生活のしお
り」にもありますので、今一度確認してください。

【荒天時の対応について】
大雨、洪水、暴風、大雪、暴風雪 の警報が、鳥取市北部地区に発令さ
れた場合に、
(1) 午前6時の時点で発令されていた場合
⇒ 自宅待機 (解除されるまで引き続き自宅待機)
(2) 午前6時から午前8時までに解除された場合
⇒ 安全を確認して登校 (授業あり)
(3) 午前8時時点で解除されていない場合
⇒ 臨時休校
※鳥取市北部以外の地域に警報が発令された場合は、その地域に居住して
いる生徒については上記の内容が適応される。
警報が解除されても登校が困難である状況にある場合には担任 (学校)
に必ず連絡をすること。

荒天時には随時HPやマチコミメールにて情報を発信しています。マチコ
ミメールの登録が未だの生徒・保護者の方は、是非とも登録をお願いします。
また、荒天時にはTV等での気象情報や公共交通機関 (JR、バス等) の情
報に注意してください。